



ひばり

Vol.113

東葛川柳会後援野田川柳会会報

平成 31 年 2 月 6 日

発行 野田川柳会

野田句会新春例会 (31.1.9)

出席者：20 名 欠席者：2 名 会場：櫛のホール 4 F 「研修室」

新年会：創作料理「一幸」

司会：成島 静枝

宿題「人生」 橋本 主風 選

ジグザグの人生だから味がある
妻に引かれ古希から先もありがとう
人生も終わりよければすべて良し
オシメとれまたオシメする年となり
生きるっていいね恋をして愛を知り
花のある人生は無理でも生きる
セーブしてかすれ人生長丁場
面白く楽しく過ごそうもうちょっと
年金で老いの人生ありがたい
経験に無駄なことなど何もない
来し方に不満は無いとピンコロリ
一億円拾ったほうも黄泉のくに
忘年会掛け持ち過ぎで会費負け
本棚に残る昔の好奇心
まだ行ける十年旅券取る八十路

特 選

人生を語るに酒が欠かせない
縁ありて野田の地に来て家と庭
演歌から人生行路教えられ

軸

人生は上り下りの試練です

松本八重子
金子 四郎
古谷 則子
松本 康男
本間千代子
黒木 英子
松本八重子
山口千ひろ
富田 明美
金子 四郎
志田 則保
本間千代子
高崎 憲一
川崎 信彰
長島 康

松田 絹子
上原土志夫
松田 絹子

橋本 主風

宿題「かたやぶり」 関 水戸子 選

形無しは型がないのに形やぶる	高崎 憲一
我が型出来て初めて型破り	松本 康男
非常識と腹を立ててる非常識	川崎 信彰
はちゃめちやな孫のゆく末大物か	古谷 則子
小心を隠す奇抜なファッションで	松田 絹子
誰に似てこの悪ガキとババ怒鳴る	松本八重子
古希となり常識はずし飛びたいな	古谷 則子
破天荒家族以外にたたえられ	河井 和寿
型破りと言われてみたい普通人	松本 康男
かたやぶり程の大物見当たらず	黒木 英子
二刀流パフェを片手に飲む酒豪	長島 康
大食いのタレント演じる食いっぷり	志田 則保
初セリに三億越える鮪かな	志田 則保
羽子板を空へ飛び出す写楽の絵	遊 人
今時の容姿端麗かたやぶり	黒木 英子

特 選

毎朝の写経の続く二十五年	山口千ひろ
かたやぶりどこまでいいのさ持病持ち	山田 節子
定まらずあってもいいな私にも	山田 節子
軸	
なぜだろう大掃除にはスダレ変え	関 水戸子

席 題 「 正 月 の 遊 び 一 切 」 成 島 静 枝 選

今年の運人生ゲームで高笑い	古谷 則子
独楽遊び芯がずれなきゃ良く廻る	松本 康男
駅伝のテレビが縛る三箇日	川崎 信彰
晴れ着着た犬と戯れ初詣	長島 康
凧（カイト）にて今や遊ぶ子女の子	上原土志夫
かるた取り坊主めぐりで大騒ぎ	山口千ひろ
羽根つきも身体動かず仁王立ち	関 水戸子
奴凧揚げるノウハウ競い合い	上原土志夫
凧あげと走った途端足がつり	松本 康男
思い出はいつも負けてたかるた取り	松本八重子
ババやジジ抜けばゲームが整わず	山口千ひろ
テレビしか凧揚げ景色見られない	金子 四郎
福笑いコマに羽子板それなあに	古谷 則子
金賭けぬ花札鼻であしらわれ	本間千代子

特 選

好きな娘と指が触れ合うカルタ取り
福笑いどこか似ている妻の顔
お馴染みはディサービスの野田歌留多

志田 則保
遊 人
松田 絹子

軸

正月のチラシ新装パチンコ屋

成島 静枝



<おもしろ川柳>

二字結び 志田 則保 選

(異なる一字の漢字が二つ出題されるので、その両者の字結びを詠み込む)

課題「中」「生」

中間テスト生はんかではできないぞ
中学校苦勞耐えない先生よ
寒すぎる地球の中で生まれたい
中国は世界の覇権生みだして
戦中派窮する民は共生し
中学の生徒ですよ優勝者

富田 明美
古谷 則子
山口千ひろ
金子 四郎
河井 和寿
松本 康男

五 客

人生の半分で一人旅になり
七十年中途半端で生きてきた
中流で生きております不満足
中庸に生きぬくこともあと少し
人生百年ベッドの中で生き

川崎 信彰
遊 人
松本八重子
松田 絹子
長島 康

特 選

中ほどに生きる幸せかみしめる
生煮えが中中がんこ太い芋
世界中生命輝く一年に

山田 節子
本間千代子
上原土志夫

字謎句 (じなぞく) 志田 則保 選

(漢字の偏やつくりをばらばらにして、その漢字の意味を句にする)

三人の写真消却肖像画
十年自立ニートにもどり辛い日々
木の芽出る毎日ながめ梅が咲く
門を見て口先だけで聞いかける
竹と木で目をしょぼつかせ箱出来た
登山中落石がある岩の上

金子 四郎
長島 康
富田 明美
山田 節子
古谷 則子
川崎 信彰

五 客

千尋さん一寸エロヨ良く言われ
門の内なにか音する闇の夜
願を言い旨く行くよう初詣
立たされて一日終わる心意気
山を背に石持て追われ岩手出る

山口千ひろ
本間千代子
上原土志夫
松本八重子
松田 絹子

特 選

妹は五十を過ぎて未だ処女
口とじて貝のごとしの議員居る
日が暮れて生きて夜空の星をみる

遊 人
松本 康男
河井 和寿

会員の活躍

とも（1月号）（川柳欄）年の暮れ喪中ハガキが連れてくる
早割にお節があるかと年金者

松本八重子
松本 康男

のだジャーナル（1/1）（川柳欄）平成の最後だ賀状買いに行く
（俳句欄）水郷の嫁入り舟や花菖蒲

松本 康男
鳴子 百合

（1/12）（川柳欄）家事育児毎日俺は二刀流

横川こうしろう

（1/26）（川柳欄）運勢を開く扉や新暦

松本八重子

恵方巻破棄ならくれと欲しい老い

松本 康男

☆ 編集後記 ☆

●賑やかに新春句会で今年も明けた。関宿勉強会と野田句会と合同でワイワイと。東葛川柳会から信彰さんと千代子さんもお迎えして。お酒が回って<二次結び>や<字謎句>もやってみた。名句、迷句がぞろぞろ。今年も良い年になりそうだ。

（遊人）

野田句会 次回予定3/6 「樺のホール」研修室 10.00～12.00

句会 宿題「花見」康男選 「3月」土志夫選各2句 当日苦戦配布

事前投句 自由吟1句 事前投句締切 2/25)

次々回 4/3 「樺のホール」研修室 事前投句「こそこそ」2句と自由吟1句

関宿勉強会 次回予定3月14日（木）関宿中央公民館 会議室① 13.00～16.00

互選用自由吟1句 締切 2/28